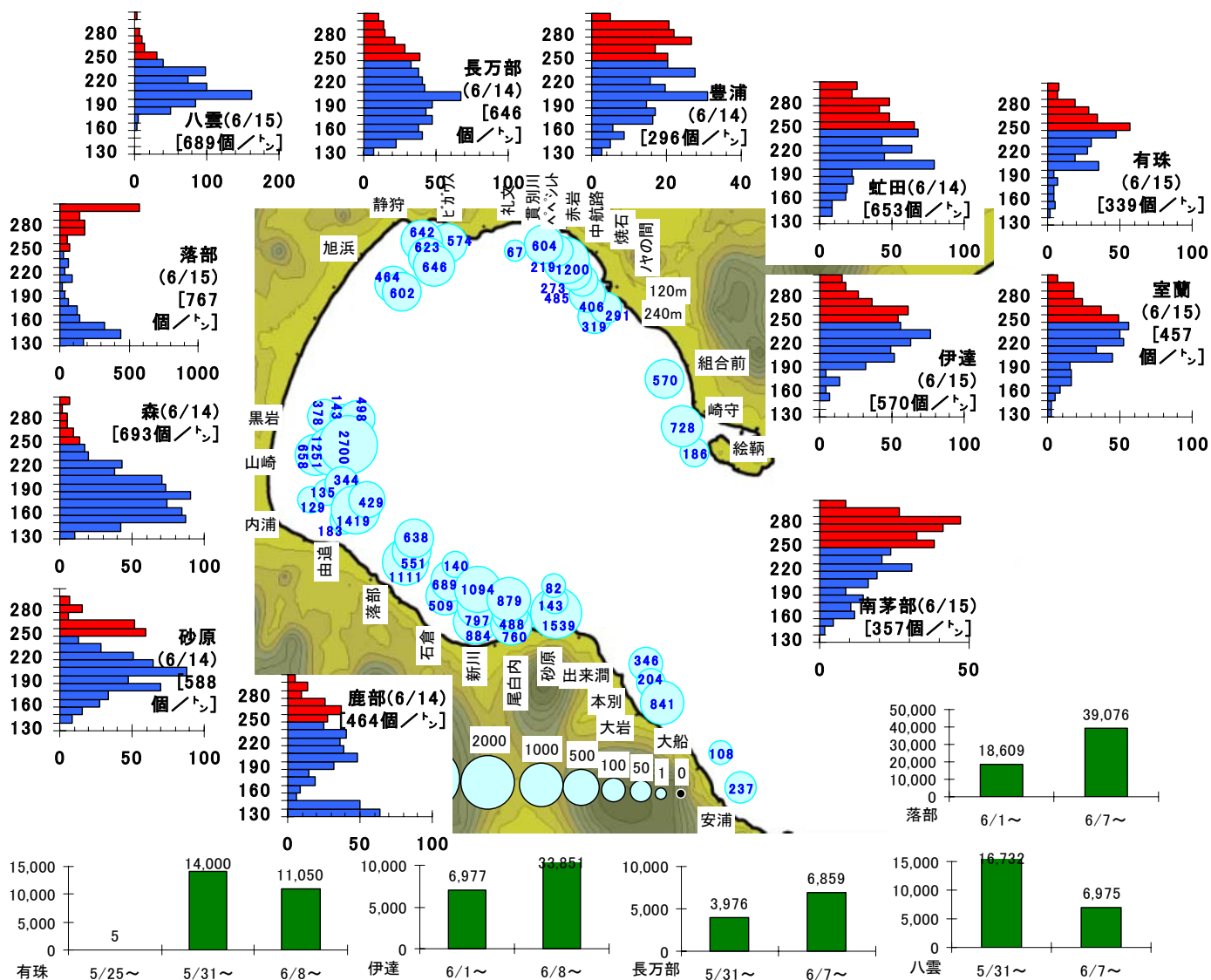


# 第7回噴火湾ホタテガイ情報(2010年)

発行日：平成22年6月17日

函館水産試験場・栽培水産試験場・釧路水産試験場  
胆振・渡島北部・渡島中部地区水産技術普及指導所

図1. 浮遊幼生分布状況(6/14-6/15) ・丸の大きさと添付数字は幼生密度(個/トッ)



週間付着数(個/100g/週)

## 概要

6月14～15日に各地区指導所により、噴火湾沿岸部の浮遊幼生調査が行われました。噴火湾沿岸部から南茅部まで浮遊幼生の密度が高い状態です。二週間前の調査から徐々に密度は低下し、胆振側では67～1200個/トッ、渡島側では128～2700個/トッになっています。しかし例年と比べると、密度が高く大型の幼生も多い状態が続いており、種苗の付着はまだ続くと期待されます。週間付着数は、胆振側で11,050～33,851個/100g/週、渡島側では6,859～39,076個/100g/週と大量の種苗が付着しています。また、採苗作業の障害となるイガイの付着も多い状態が続いています。各地区指導所の採苗情報を参考に、採苗作業を続けてください。

各地区水産技術普及指導所の浮遊幼生・週間付着数調査は毎週、函館水試金星丸による全湾調査は7月5～7日に予定されています。

連絡先：函館水試 調査研究部 管理増殖グループ 馬場・渡野邊・菅原・金森